

1. 本授業科目の基本情報

科目名(コード)	日本事情 I	(TCM109)
講義名(コード)	TCM_日本事情 I	(TCM109)
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年 1学年
対象コース	日中医療通訳コース	単位数 2
授業担当者	川本 千陽	時間数 30
成績評価教員	川本 千陽	講義期間 春学期
実務者教員		履修区分 必修
実務者教員特記欄		授業形態 講義

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	日本の病院での勤務事情について、病院内での日本語表現を学びながら理解していく。
全体の内容と概要	病院内で使用する日本語表現を中心に、敬語表現をしっかり使える学んでいく。
授業時間外の学修	普段の生活でも敬語表現を使うように気をつける。
履修上の注意事項等	「ビジネスマナー I」の授業と連動し、日本の病院事情、ビジネスマナーの観点から医療人としてのホスピタリティを育成していく。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識(期末試験点) 60%	自己管理能力(出席点) 30%	協調性・主体性・表現力(平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率×0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	入院するまでに必要な日本語表現を身につける。	場面から学ぶ看護の日本語 第1課
2	入院時の入浴に必要な日本語表現を身につける。	場面から学ぶ看護の日本語 第3課
3	入院時の食事に必要な日本語表現を身につける。	場面から学ぶ看護の日本語 第4課
4	病院内での排泄に関する日本語表現を身につける。	場面から学ぶ看護の日本語 第6課
5	患者の要望などのやり取りの日本語表現を身につける。	場面から学ぶ看護の日本語 第7課
6	病院内での仕事のやり取りに関する日本語表現を身につける。	場面から学ぶ看護の日本語 第9課
7	告知に関する日本語表現を身につける。	場面から学ぶ看護の日本語 第10課
8	リハビリに必要な日本語表現を身につける。	場面から学ぶ看護の日本語 第12課
9	数値に関する日本語表現を身につける。	場面から学ぶ看護の日本語 第13課
10	病院内の同僚への看護説明に必要な日本語表現を身につける。	場面から学ぶ看護の日本語 第15課
11	病院内の同僚と仕事の話をする際の日本語表現を身につける。	場面から学ぶ看護の日本語 第16課
12	緊急事態時に必要な日本語表現を身につける。	場面から学ぶ看護の日本語 第18課
13	死を看取る際に必要な日本語表現を身につける。	場面から学ぶ看護の日本語 第19課
14		前期期末試験
15		前期期末試験 FB

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	専門日本語入門 場面から学ぶ看護の日本語
参考文献・資料等	
備考	